

令和

平成 2 年 2 月 10 日

津山市議会議員

西野修平

出張報告書

下記のとおり出張しましたので、報告します。

記

1. 出張期間 ^{令和元}平成 3 年 5 月 1 日 ~ 平成 年 月 日

2. 出張先

岡山県立美術館

3. 出張者

西野修平

4. 出張内容

日本刀国宝展。今、日本刀ブーム
である。特に若い女性のファンが多いとのこと。
今日も女性が大半であった。切味の存在
が美に魅せられているとのこと。津山にも松平家
に伝わる刀が有名である。香吉、家康と伝った
童子切りやあつなが有名であり、レプリカも^送増えている。

(裏面へ)

うすへ

展示もすとの事である。

令和
平成 2 年 2 月 10 日

津山市議会議員

西野 修平

出張報告書

下記のとおり出張しましたので、報告します。

記

1. 出張期間 平成 元 年 7 月 11 日 ~ 平成 年 月 日

2. 出張先 石川県小松市 森林組合、せせぎの里

3. 出張者

西野 修平

4. 出張内容

小松市には世界的重機メーカー小松製作所がある。工場の林業作業機を見学した。気持がよかった。市役所で森林対策を聞く。小松市の山は平野部より海側の山なので高い山がなく平入の谷行き届いていて、農業地帯でもあるので農地と里山の区切りがはっきりしていて里山に

(裏面へ)

うすへ

植林が（つかり）出来、木材も良く出来ていた。そして
里山と奥の山との間に動物等の着床樹の
緩衝帯が設けられていて農地の害獣被害
が少なくなったとの事です。岡山県より数段進
んでみる。それを見学（なぐさ）森林組合に行った。
森林組合では山の取り組みと（なぐさ）製材ライン
を見せて頂いた。自動的に太い木、細い木、高さを分け
製材もして行くのである。ラインなので人手が掛らない。
大変な工程であります。そしてコマツの機械です。これ
は山に放置にある木材を集めてチップにするのです。
コマツでも木葉樹は乾燥すると硬いので材心が
出来ないとの事です。そして廃材とチップ（なぐさ）
と燃料として使っている養老信養セラー
と言った「せせぎの里」へ行ったら。ここでは
チップと山積み（なぐさ）温泉をわけていいます。
燃えた熱でチップも乾燥させておき（なぐさ）
すのです。大変な温度でした。この小松市で感
じる事は農地も里山も（つかり）整備され（なぐさ）
ラインがハッキリとして気持が良かった。大変参考
になりました。

令和 2 年 2 月 10 日
平成

津山市議会議員 西野 修平

出張報告書

下記のとおり出張しましたので、報告します。

記

1. 出張期間 ^{令和}平成 元年 7 月 11 日 ~ 平成 年 月 日

2. 出張先 富山県高岡市

3. 出張者 西野 修平

4. 出張内容 「伝統工芸品について」高岡市は^北富山県
公の頃より銅器漆工芸等が茶道具などの伝統工芸
が盛んであった所です。そういった基本技術とふまえて
高岡デザイン工芸セクターがある。これは新アクト産業・
デザインの育成「伝統工芸の保存・継承」「デザイン・工芸
の啓発・普及」と三つの柱としている。高岡の

(裏面へ)

伝統工芸と連携し、新しいアットホーム製品の開発や新技術・新素材の研究開発などを行い、幅広い視点でデザイン・工芸の振興を図っている。

商工伝統工芸・能作、株式会社能作・これは商工市で1916年に創業した鋳物メーカーであり、鋳造具・花器・茶道具から鋳テーブルやホームアパレルまで製作販売。能作・株式会社能作 創業100年のメーカーである。

令和 元年 8月 26日
平成

津山市議会議員

西野 啓平

出張報告書

下記のとおり出張しましたので、報告します。

記

1. 出張期間

令和元年 8月 19日 ~ 平成 年 月 日

2. 出張先

サントホール (岡山県)

3. 出張者

西野 啓平

4. 出張内容

吉井川流域の魅力発信・意見交換・岡山でつフォーラム、
山陽新聞主催の岡山でつフォーラム、
和気町、瀬戸内市の魅力発信を目的としたフォーラム
であった。3市町の広域連携と観光振興に取り組む
(一社)「吉井川流域DMO」(代表理事、越前山陽新聞社長)
の役割などについて地元首長や有識者ら4人が意見と

(裏面へ)

うらへ

交した。この中で昨年まで美作県民局長であり
現備前県民局長の渡辺知美氏が出席していた
のが私の一番の感心であった。渡辺氏の吉井川
とりわけ津山での経験の話がどこまで出るか興味
であったが、あまり参考になる意見が出なかったのは
残念とも言える。しかしDMOへの取り組みで
宿泊者を広げる為にスポーツが一大目玉である
点は大いに参考になった。又、この3市町は宿泊
場所が少ないうえに民泊などでDMO
に取組んでいるところが魅力である。津山の方
が観光資源や宿泊施設にめぐまれているのに
取組みが出来ていないと思った。

令和
平成

元年 10月 11日

津山市議会議員

西野 怜平

出張報告書

下記のとおり出張しましたので、報告します。

記

1. 出張期間

令和元年10月4日 ~ 平成 年 月 日

2. 出張先

美作市 梶並、右平地区

3. 出張者

西野 怜平

4. 出張内容

木地師の里、ジャングル大園、千歳リサウナでは
旧阿勝田より梶並川を流れるバイパスが付けられて見違
えな様であった。梶並へ行くにはジャングル大園である。
休日の美大変な感じがした。アマガエツリ、魚の
手づかみも供養が11月11日です。木のほり運手等
もありました。ジャングル大園です。それを見ながら木地師の里

(裏面へ)

ううへ

へ行く。20年位以前に事あるのが、新しい
工房が出来陣列にも出来た派になっていて、
お客は私一人です。工房に一人造り人の居て
お話しを聞く。作品は暇な時に交代で作って
いるとのこと。一通り見てジャケル大園のオ
帰リ権並一重のXイラストレーンを見て、いざと知
り合いに声と掛け合い、最近の様子を聞く。た
とにサウナの場所も聞き、右手のオア下った。
ババアお、旧道に入り、古民家のとなりは
正倉の倉庫の様な建物に煙突が出て
いたので見て、いざと近所のオバさんか二人事で
サウナを手伝って、いざと話をし、中と見せてもらった。
最近着任した市のアドバイザー、オアオアオア
もいざと話す。オア5坪位の所にサウナ水につけ
更衣室があり、マキで沸かすバイオマスサウナ
だと言う。入浴に行くと、言われて、オア、^政改
束と、いざと。となりの民家も改造して
宿泊所にするとのこと。オア、ゆくり束と、言
合れた。山の中でも何となく、オア、とりま
と、オア、いざと、一辺を見た。

令和
平成

元年 10月 12日

津山市議会議員

西野修平

出張報告書

下記のとおり出張しましたので、報告します。

記

1. 出張期間

令和元
平成31

年 10月 5日 ~ 平成 年 月 日

2. 出張先

和気町役場大会議室 和気町主催

3. 出張者

西野修平

4. 出張内容

藻谷浩介さんと考える(移住×里山資本主義)

がつる地方と都市の未来」和気町主催のもの

で約60名が参加。参加料2,000円

藻谷さんのプレゼンの良い話があり、後はグループ

12名から2テーマ12よりディスカッション。色んな

テーマを設け数回ディスカッションした。3人-3組

(裏面へ)

うさ

である。そして、東京等大都市より転入に
来た人達のなかには和氣に移住に来たもの
も人に聞かされた。それぞれ立場があるが、和氣
は岡山市に近く、偏く所があり、中央・文化もあり
子育てに適しているとお話（おしゃ）された。夫は
東京で仕事、妻と子供は和氣で妻は仕事と
しながら子育ての人。間（ま）に夫が通って来るとの
事でした。そして、生活も豊かで「子供が自然と
ふれ合い、のびのびと育つ」という事でした。和氣所は
3年で1200人移住希望があり300人が毎年
移住などの事。20代から40代の子育て世代が
70%だと言う。瀬谷さんの話には今の和氣は
1000年の「中央」のものが残っている。今後1000年後に
残る町や村がある。人工物が何が残るの
かという疑問である。東京、大阪、福岡、
北海道は生活保護者が多い。今後は地方
の方が文化が高くなる事、里山に暮して
文化の高い町を造ろうという事でした。

令和 2 年 2 月 10 日
平成

津山市議会議員

西野 晴平

出張報告書

下記のとおり出張しましたので、報告します。

記

1. 出張期間 ^{令和}平成 元 年 11 月 2 日 ~ 平成 年 月 日

2. 出張先

岡山フーズサミット

3. 出張者

西野 晴平

4. 出張内容

逢沢 一郎 経済シロポジウムに参加。
スズキ自動車の会長である鈴木 修氏のお話
しがあり、一度お会いしたい人だったので有難か
った。逢沢氏との二対二の講演だった
が軽自動車の税制を通じての未来から、
現在スズキがインドへ進出したきっかけの話も

(裏面へ)

うすへ

これ現在インド政府と緊密な関係を築き、589名の代表団が2001年インドに行き現場を指揮しているとのこと。現場第一主義のお話（感謝を致しました。そしてインドの近代化にインフラとして軽自動車とオートバイで促す事。やはり大投資をしないと良い経済発展につなげているとのこと。そして、インドの自動車市場は今後の市場展開有意義でありました。

平成
24

2 年 2 月 10 日

津山市議会議員

西野修平

出張報告書

下記のとおり出張しましたので、報告します。

記

1. 出張期間 ~~平成~~^{令和} 24 年 11 月 12 日 ~ 平成 年 月 日

2. 出張先

北見市「道の駅おひかり温泉」北の大地
水族館(山の水族館)12/12

3. 出張者

西野修平

4. 出張内容

北の大地の山の水族館は、水族館と
いば海のものと言う定説を破り 淡水魚の水族館が
あって良いのではと言う発想から出来たのです。特に
まぼろしの魚「イトウ」を発見し 日本最大の淡水魚
が 11 匹。又 場は湖に直し 春に又導入する。この
自然の水でなければ赤い色が出るとの事です。

(裏面へ)

うへ

（一）淡水の生物に言っても日本は北海道から九州まで南
北に長いので色々なものが居る。日本では数少ない事なので
今日もウーアデの北の端なのにかゝる人が見学に来
いた。ヒメマスやシロフスミエや北海道の材から
ウオモル。又、温泉で言う熱帯の淡水魚も数
居る。ここはこの地方では最大級の温根湯温泉
と道の駅があるので新しいバリエーション道が出来た
お客も減っている事です。又、北見は農業の振興
地でもぬきかき生産日本一になっている。夏場まで留
める今温倉庫の南登土の登芽がおくになり
日持のする美である事。

平成^{令和}2年2月10日

津山市議会議員

西野 修平

出張報告書

下記のとおり出張しましたので、報告します。

記

1. 出張期間 ^{令和}平成元年11月13日 ~ 平成 年 月 日
2. 出張先 三國志市
3. 出張者 西野 修平
4. 出張内容 畜産業及び農業の特産物における地域
振興 ブランド化支援事業の取り組みについて 三國志市立
郷土博物館による貝塚館
モリノ貝塚博物館は三國志市の河口の丘陵
地にある1,300年前の貝塚である。ここは北方民
族の土穴式住居跡と貝塚や埋葬墓が出土

(裏面へ)

うふ

1台所です。六角形の立穴木住居に25人位
の単位で住んで1台と見えます。そして、1座には熊
の頭が際立っていました。食べ物には貝(夏場)ホトケ
フシの筍が出土。お墓は頭に土器をのぶせ金で
サハリンを向いて葬られていたとの事です。日本文化とは
異なるのでしょうか?。そこで4月にはこの後、北方民族
とは何かと思ひ、一人で民族資料館に行つた。

ここにはDVP、サハリン、北海道力大のホーグ
文化と民族の事が展示されていました。11月には何処
の文化である。アイヌとは別の種であった。

ホーグ海沿いの海風が農業に大変影響に
いる。調査は北海道有数の畑作農業地帯
で麦類、馬鈴薯、人参が中心である。そして
豆類も近年は宜しくこれを利用し酪農
や乳牛飼育も行われている。これがその産地で
あったが国内初の加工工場が廃止出来なく
なった。そこで麦類、2倍、野菜が取れる。広大な畑に大型
農機が入ってすばい農業である。前日夜、歴史秘録
ヒストリックで調査刑務所の事と書いたのが刑務所
100年経つた史のあまホーグ調査監獄乳牛の事と
同じだが職員さんはなかなか知らないと答えた。
A5377の大変な13枚と書く。ふいふ。

令和
平成 元年 11 月 19 日

津山市議会議員

西野 修平

出張報告書

下記のとおり出張しましたので、報告します。

記

1. 出張期間 令和元年 11 月 16 日 ~ 平成 年 月 日

2. 出張先

岡山県立美術館

3. 出張者

西野 修平

4. 出張内容

第66回 日本伝統工芸展

何と云ってこの陶芸の部門が一番のメインであり、
有田焼の名人が3人出品していた。特に、柿右衛門
さんの花瓶はすごくお気に入りの美しさは目と口。
そして、萩焼のみじと白釉が売っていた。備前と
土佐さん出品していた。他の焼物には倒れた

(裏面へ)

うす

感じになった。そして、木竹工では津山の
小椋茅元さんと真庭の大島さんが共に
けやき造りが入選していた。小椋さんにも金杯
の選手にならぬための誘いがあり感心致した。
又、漆芸の多岐やかな枝には日本の文化を感じ
させられるし、人形の部門では女性の造形
が目玉を引きます。伝説の技技を見入ると
時間を忘れて美の世界にとり込まれ何と
形容出来ないものがあります。

令和 2 年 3 月 10 日

津山市議会議員

西野 修平

出張報告書

下記のとおり出張しましたので、報告します。

記

1. 出張期間 令和 2 年 3 月 10 日 ~ 平成 年 月 日

2. 出張先 岡山県立博物館

3. 出張者 西野 修平

「備前のあそび場所」

4. 出張内容

今度の展示会は備前焼が茶道具として取り入れられ茶席のどの位置に置場所があるかというものでした。基本的に濃茶席を想定し、床、茶席に備前焼が他の道具との組み合わせでどの位置に置かれるかというものです。床では花入れ(花器)が主です。そして、

(裏面へ)

ううへ

茶席では水指し、茶入れあり。流石に
備前の茶山人と言うものはありませんでした。備前焼
は土薬がかけないので床では白木の上に置くのです。
又、茶席では基本的に畳の上です。今回は茶入れ
では一人者と言われる楽長次郎（初代楽）の作品
が3つも出ていた。他は、朝鮮もの、萩、丹羽、瀬戸
信楽、志野と言った名品が、水指し、茶入れ、茶入れ
のセットで20組位は展示されていて結構でした。
その他、鉢、菓子鉢、カマ、スリバチの古備前
が多く展示とされ歴史と物語っていた。又、
別室では国宝、重文の備前長船の銘刀が
展示されていて、津山も早く二枚掬子備し
が出来るは"と思いたい。